

達成度：H27.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 企画財政課の目標（平成26年度）自己評価書

企画財政課長 大崎 智行

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 総合計画の進行管理（企画総合調整班）</b></p> <p>第5次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画において予め設定した戦略的・重点的に取り組む成果指標の達成状況について把握するとともに、実施計画を毎年見直し、施策を効果的に実施するための進行管理を行っていきます。</p> <p>また、後期基本計画の策定に向けた調査研究等を行います。</p>	4	<p>第5次酒々井町総合計画前期基本計画に掲げる主な事業・施策の進捗状況や達成度を把握し数値化することで、毎年継続的な見直しや改善を図り、事業の効率的な推進に努めるとともに、後期基本計画の策定に向けた調査研究等について、事前に行いました。</p>
<p><b>2 町マスコットキャラクターの活用（企画総合調整班）</b></p> <p>町のブランド力を高める魅力づくりや「郷土・酒々井」に愛着と誇りを持ち、住んでよかったと思える、満足度の高い自立したまちづくりを進めていくため、その推進役となる町マスコットキャラクター「井戸っこ（しすいちゃん）」を積極的に活用することで、町民の郷土愛を育むとともに町のイメージアップを図ります。</p>	4	<p>町マスコットキャラクターを活用し、町内外のイベント等に参加し、酒々井町のPR活動を積極的に行いました。</p> <p>町内保育園や小・中学校の子どもたちの参加するイベントにおいても、積極的にふれあうなどし、未来の酒々井町を担う子どもたちの「郷土愛」を醸成するとともに、町民の郷土愛を育み、町のイメージアップの一助となりました。</p>
<p><b>3 地域資源の活用に関する検討（企画総合調整班）</b></p> <p>東関東酒々井インターチェンジの開通とアウトレット・モールの開業を好機ととらえ、町の地域資源を積極的に活用し、地域の活性化を図るため、アウトレット・モールと町内の地域資源を結びつける方策等を創出するための検討を行っていきます。</p>	4	<p>本年度を町政施行125周年の記念の年と位置づけ、主要地域資源となるハーブガーデンまつりやふるさとまつりなどの各種イベントにより交流人口の増加を図り、また、併せて、町総合観光パンフレット「酒々井町じゃらん」などを効果的に活用し、“ふるさと酒々井”をPRできました。</p>

<p>4 交通事情等をふまえた交通環境の改善に向けた総合的な検討（企画総合調整班）</p> <p>町内の交通事情等を把握し、円滑な交通と歩行者などの安全な通行等、交通環境の改善に向けた対策案などの検討を行います。</p> <p><b>5 広報活動の充実（広報広聴班）</b></p> <p>1）広報ニューしすい、広報ニューしすい Young Eyes の読者の拡大に努めていきます。読者に興味を持っていただくために、常に新鮮な話題と情報を提供できるよう関係機関と連携して情報収集に努めます。</p> <p>2）町ホームページ上で毎年更新している「くらしの便利帳」、「町政便覧」につきまして、今年度は、町制施行125周年を記念して冊子による発行（全戸配布）を併せて実施し、行政サービスの向上を図ります。</p> <p>3）広告収入としての「有料広告」の件数の拡大を目指していきます。そのため、引き続き事業者への周知を図るとともに、広告の効果が最大限に依頼主に還元されるよう広告主の希望を取り入れ、効果的な紙面を作成できるよう努めます。</p>	<p>4 町の総合的な交通施策に関する事項を審議した結果、町に提言された町内の要対策箇所等について、対応状況等進捗状況を把握するとともに、今後の予定など方針等について、関係機関などと意見交換を行うことができました。</p> <p>3 広報ニューしすいにおける行政情報の提供については、概ね的確に伝えられたものと思いますが、紙面づくりの基礎知識等の不足から読者の興味を引く記事の工夫が足りなかったと思います。</p> <p>Young Eyes については、若者世代の定住促進を標榜する当町において、重要な役割を果たせるものと確信しますが、編集委員の選任が難航し、発行機会を1度失ってしまったことから、これを反省して人選をはじめ、発行に遅れが出ないように努めます。</p> <p>4 (株)サイネックスと共同の取り組みにより、町制施行125周年記念酒々井町「町勢要覧・くらしの便利帳」の9500部の発行が叶い、昨年末に町内全戸配布を完了できました。また、町ホームページ上からも Web 版の閲覧が可能となったことから、行政サービス等の確認に役立つものと考えられます。</p> <p>一方、編集に際しては、町内外の68件の事業主から広告料に協力いただいたことから、その分広報ニューしすいへの広告提供が減少してしまっことは否めません。</p> <p>3 自主財源を確保するための有料広告掲載料については、広告収入は、20万円となり、前年比2万5千円の増収となりましたが、依頼件数については、町内の事業主から「町勢便覧・くらしの便利帳」の作成の方に多くの協力をいただいたことから25件にとどまり、前年</p>
--	--

<p><b>6 広聴活動の充実（広報広聴班）</b></p> <p>広聴活動は、町政に対する提言等を聴き、よりよい町政運営を推進する上で重要な役割を担っています。引き続き関係部署と連携して、的確な広聴活動の周知を図ってまいります。</p> <p><b>7 統計事務の充実（広報広聴班）</b></p> <p>1) 今年度は、「経済センサス-基礎調査・商業統計調査」、「全国消費実態調査」、「農林業センサス」、「工業統計調査」の4調査が実施されることに加え、27年実施の「国勢調査」の準備作業が始まります。いずれも調査員の役割は重要であるため、人員の確保と的確かつ正確な統計結果を得られるよう引き続き指導に努めます。</p> <p>2) 調査員の確保については、町統計調査員の高齢化等の問題に加え、オンライン調査が主流となりつつあり、IT 関連の理解も要求されていることなどから、近年協力辞退が増えている状況ですが、130余名の調査員が必要となる国勢調査に向けて、調査員を確保するために新たな人選に努めます。</p> <p><b>8 財政健全化の推進（財政班）</b></p> <p>財政の健全化を図ることが重要であることから、全体事業を見直しながら、簡素で効率の良い予算執行を指導します。</p> <p>予算編成に当たっては、酒々井町財政健全化緊急対策計画を見直し、現状を把握しながら歳出の削減と歳入の確保に努め、財政の健全化に努めます。</p>	<p>度比で1件減少となりました。</p> <p>5 法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を含めて、広報ニューしすいや町ホームページに掲載し、町民に的確な広聴活動の周知を図りました。</p> <p>5 調査員各自の経験と知識を生かして取り組んでいただいた結果、各統計調査とも無事に終了することができました。26年度のように複数の統計調査が重なった場合、掛け持ち等により調査員の負担が増し、トラブルや、事故の発生原因にもなりかねないことから、引き続き新たな人員確保と指導に努めてまいります。</p> <p>4 今後の主流となるオンライン調査をにらみ、町のホームページ、広報で年間を通じて新たな調査員の確保を試み、また、調査員経験者による紹介も協力いただき、30歳代～50歳代の方の応募を期待しましたが、比較的高齢の方の応募が目立ちました。募集広告の内容に具体的に必要とされる技能や年齢を明記しなかったことが原因と考えます。</p> <p>4 平成25年度決算より算定した財政分析の結果、町の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、公営企業資金不足比率）は各比率とも健全な値を示しています。</p> <p>また、予算編成にあたっては、酒々井町財政健全化計画を策定し、引き続き財政の健全化に取り組みました。</p>
---	--

### 9 新地方公会計制度への取組（財政班）

自治体の財政状況を総合的かつ長期的に把握するため、新たな地方公会計制度によるバランスシートを主とした財務諸表の整備を進めます。

### 10 ファシリティマネジメントの推進（管財班）

町有施設の半数以上が建設後30年以上を経過しており、これらの施設を長期的・総合的に維持・整備する必要があることから、施設運営費の最小化、施設利用効率の最大化・変化への柔軟な対応を図るため、健全な行政運営と住民サービス向上を図る方策として、これら公共施設を経営的な視点に立った管理運営に資することを目的としたファシリティマネジメントを推進します。

### 11 チャレンジ目標

#### (1) 『町プロモーション活動の推進』（企画総合調整班）

酒々井町は、緑豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、史跡や神社・仏閣などが多い歴史のある町であるとともに、公共交通機能も整い住環境に恵まれた魅力あるコンパクトな町です。また、本年は町制施行125周年を迎え、日本でいちばん古く歴史のある町として独立独歩の道を歩み続けています。

昨年度は、東関東自動車道酒々井インターチェンジの開通や酒々井プレミアム・アウトレットの開業などにより、知名度が飛躍的に向上し、全国的に注目を浴びました。

このチャンスを永続的に維持するためにも、引き続き“酒々井町”を全国に情報発信するために各関係機関・団体やメディアなど各方面へのシティプロモーション活動を実施するとともにその方策等について検討を行います。

また、併せて既存事業を中心とした125周年事業を織り交ぜながら具体的な事業に取り組んでまいります。

3

平成12年度決算から作成していた「総務省方式」に変え、平成22年度決算からは、新たな地方会計制度に対応した「総務省方式改定モデル」による財務諸表4表中の2表分を作成しましたが、平成25年度決算分については、本年5月を目途に作成中です。

3

各公共施設の安全性を確保するとともに施設及び設備の不具合により業務が停止することのないよう「施設管理者のための点検マニュアル」の試行版を作成し、日常点検については職員で対応できるよう取り組みました。

4

酒々井南部地区への表玄関となる東関東自動車道酒々井インターチェンジを中心として酒々井プレミアム・アウトレットを訪れる集客数が年間600万人を優に超えるなど、当町への交流人口は格段に上昇しました。

併せて、テレビなど各種メディアに報道されることで「酒々井町」の認知度を高めることとなりました。

また、「全国ゆるキャラサミット」や「ちばアクアラインマラソン」などの各種イベントに多く参加し、町マスコットキャラクターを積極的に活用することで、町制施行125周年記念としても事業展開することで、認知度向上や郷土愛向上に相乗効果が出ています。

年度末には、酒々井町の自然や歴史、インフラ整備状況など住環境の良さと町の地域資源等を含めて紹介している酒々井町ブ

<p><b>(2) 財政健全化（財政班）</b></p> <p>健全な財政運営を継続的に行うためには、予算を適正に執行するとともに、職員が町民ニーズを的確に見極め、新たな発想により従来の予算枠内で住民サービスの向上に繋げるよう指導を図り、財政の健全化に向けてさらに全職員が一丸となって取り組んでまいります。</p> <p>さらに、財政調整基金等各種基金への積み立てを積極的に行い、将来にわたって増加する行政需要に対応する財源の確保に努めます。</p> <p><b>(3) 分庁舎の建設及び役場庁舎の改修（管財班）</b></p> <p>喫緊の課題である災害対策本部を設置できるスペースを確保するため分庁舎の整備を進めます。</p> <p>また、中央庁舎の空調システムの更新による省エネ化やトイレ改修による環境改善と節水対策等を実施します。</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>ロモーションビデオを制作しました。</p> <p>このビデオは、全国的に社会問題となっている、少子高齢化社会を見据え、地方創生の取組みの先駆けとして町で制作したもので、総合的なシティプロモーション活動に活用していきます。</p> <p>職員への予算の適正な執行の徹底及び町民ニーズへの配慮等について指導しました。</p> <p>また、基金への積立については、今後の人口減少・少子高齢化による社会保障費等の増大に配慮し、特に地域福祉基金等への積立を行いました。</p> <p>平成26年度と平成27年度の継続事業として実施している分庁舎建設工事については、平成26年度の出来高が当初の予定どおり50%を達成しました。</p> <p>また、役場中央庁舎の空調設備機器更新工事及びトイレ改修工事についても予定どおり完了し、環境が改善するとともに、省エネ及び節水を図ることができました。</p>
---	-------------------	--